

メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称: 育ち盛り)
～中東・北アフリカ情勢の当ファンドに対する影響について～

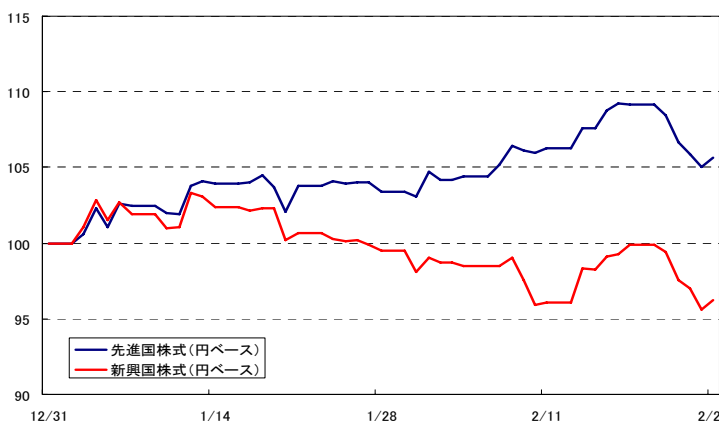
BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

昨年末から今年にかけて生じたチュニジアの政変や、2月のエジプトでの政変により、これらの国の政権が打倒されたことを受け、中東・北アフリカ諸国において、両国と同様な強権的政権の指導者に対して、民主化を求める運動が相次いで勃発しております。政治的混乱はアフリカ最大の原油埋蔵量を有するリビアや、中東の金融センターとして機能するバーレーンなどにおいて反政府運動が激化し、その混乱は金融市場にも波及しております。

【中東・北アフリカ情勢の金融市場に対する影響について】

今年1月以降、中東・北アフリカ諸国において民主化を求める反政府運動が激しさを増してきたことにより、投資家のリスク回避姿勢が高まりつつあります。株式市場においては、年初来では新興国株式は下落する一方、先進国株式は堅調に推移しており、新興国から先進国への資金のシフトが鮮明となっております。また原油価格は今年2月中旬以降、中東・北アフリカ情勢の緊迫化を受けて、急激に上昇しております。一方、当ファンドのベンチマークであるJPモルガンGBI-EM Diversified指数(ヘッジなし、円ベース)においては、足元で下落が見られますが、年初来の騰落率は+0.79%と小幅のプラスを維持しております。

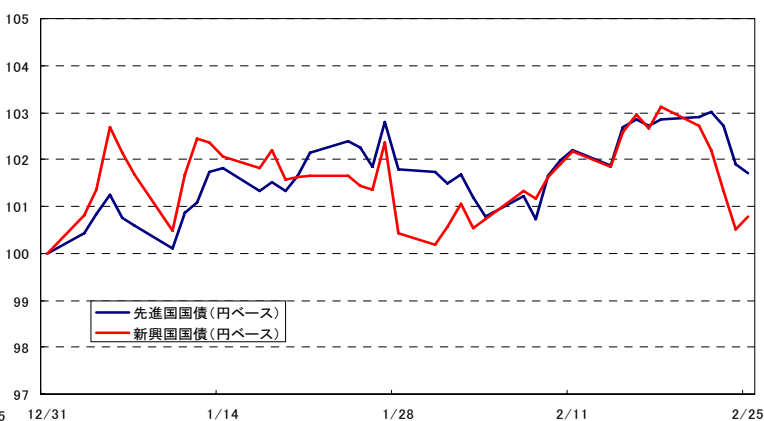
株式市場の動向(2010年末～2011年2月25日)



先進国株式: MSCI ワールド指数
新興国株式: MSCI エマージング・マーケット指数
2010年12月末を100として指数化

出所: ブルムバーグ

債券市場の動向(2010年末～2011年2月25日)



先進国債券: シティグループ世界国債インデックス(除く日本)
新興国債券: JPモルガン GBI-EM Diversified 指数
2010年12月末を100として指数化

出所: ブルムバーグ

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

【今後の見通しについて】

政治的混乱が産油国であるリビアに飛び火したため、原油価格の動向が、経済に最も悪影響を及ぼす可能性があると考えております。リビアでは、1日あたりの原油産出量が約50%減少しているため、原油市場は不安定な展開となっております。

今後、原油価格の高騰が長期間継続すれば、先進国や多くの新興国にとっては経済成長が阻害されるリスクが高まります。原油以外のコモディティ(農産物、金属等)や工業製品の輸出は、世界の景気動向に左右されやすいことから、これらの輸出国においては経済の変動性が高まる展開も考えられます。当ファンドにおいては、銅の主要輸出国であるチリ・ペソのような通貨に関しては慎重な見方をしており、ベンチマーク比低めの組入れとしております。

また一方で、ロシアなどの原油輸出国においては、原油価格高騰は輸出収益の増加をもたらすなど、ファンドに対してプラスに作用することも見込まれるため、ロシア・ルーブルにおいてはベンチマーク比高めの組入れを行なっております。

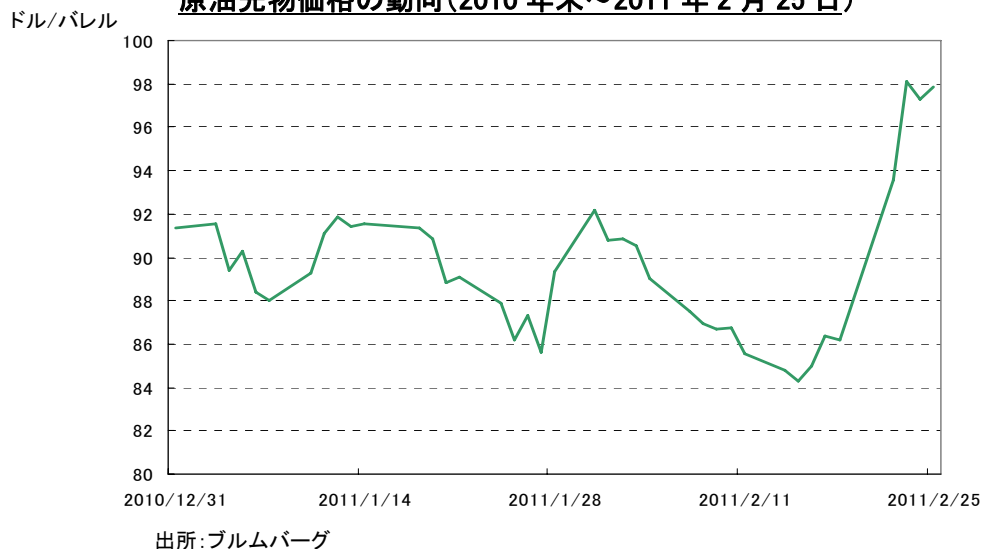
またエジプトについては、一連の事件による市場への影響が予測できないことから、小幅の組入れを維持しております。こちらに関しては引続き状況を注視しつつ、運用を行なって参ります。

足下では、これらの地政学リスクの高まりは、投資家心理の悪化を招いており、新興国市場への影響も見られます。新興国現地通貨建て債券は短期的には不安定な動向が予想されますが、新興国は引き続き相対的に高い経済成長が見込まれるため、中長期的な魅力を持っていると考えております。

投資家心理は今後も地政学リスクの動向に左右される展開が続くと考えられますが、原油市場をはじめとする各市場は、これまでの一連の騒動を十分に織り込んだ水準となっており、市場のさらなる混乱が生じる可能性は低下したものと考えられます。ただし騒動の影響が、サウジアラビアをはじめとする産油国などへ飛び火した場合には、さらなる市場の混乱や、原油価格高騰も考えられることから、引き続き中東・北アフリカ情勢を注視しながら運用を行って参ります。

【ご参考】

原油先物価格の動向(2010年末~2011年2月25日)



●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

＜ファンドのリスク＞

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

- 設定・運用は

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会